

# 「横浜と世界のパブリックスペース活用 Tactical Urbanism Japan スピンオフ」を開催します！



横浜市では、公園や道路、港湾緑地などの公共空間を、本市の魅力をもっと高めることができる重要な資源であると捉え、市民サービスの向上、地域の活性化、さらに歳出削減や収入確保も視野に、公民連携による活用の推進に取り組んできました。

現在、公共空間を活用いただく意図を持つ事業者の方に向けた「公共空間活用の手引き」の策定を進めており、手引きの完成に合わせて「横浜と世界のパブリックスペース活用」をテーマに、共創オープンフォーラムを開催します。

本市の公共空間活用に向けたビジョンをお示しし、ご登壇の皆様から公民が連携して今後どのような展開が可能かご意見を賜り、お集まりの皆様とも未来志向で共有する場にしたいと考えております。多くの皆様のご参加をお待ちしています。

## 1 開催概要

- (1) 日時 令和2年1月23日（木）  
17時30分開場／18時開演（20時30分終演予定）
- (2) 会場 横浜市開港記念会館 1号室  
（横浜市中区本町1丁目6番地）
- (3) 定員 先着90名（参加費無料）
- (4) 申込み（下記サイトからお申込みください）  
<https://sotonoba.place/tacticalurbanismyokohama>  
※締切り 1月22日（水）23時59分
- (5) 主催 横浜市政策局、（一社）ソトノバ



## 2 開催プログラム及び登壇者

第1部	「公共空間活用の手引き」紹介【横浜市政策局】
18:00-	公園における公民連携の動き【横浜市環境創造局】
18:30	横浜のパブリックスペース活用【野原 卓（横浜国立大学准教授）】
第2部	日本と世界のパブリックスペース活用 （公共空間活用の現在地 ～タクティカル・アーバニズムジャパン2019の報告等）
18:30-	【泉山 墨威（東京大学助教／（一社）ソトノバ共同代表理事）】
19:10	【中山 靖史（独立行政法人都市再生機構 都市再生部事業企画室長）】
	【Ryan Smolar (Smolarcorp President/Long Beach Fresh Co-director/Downtown Santa Ana Placemaker)】
	[逐次通訳] 田村康一郎 (Place Capital Lab./（一社）ソトノバ)
第3部	パネルディスカッション「公共空間活用のポテンシャル」
19:20-	<パネリスト> ※五十音順
20:30	【泉山 墨威／中山 靖史／野原 卓／Ryan smolar／横浜市】 [逐次通訳] 田村康一郎
	<ファシリテーター> 西田 司（㈱オンデザインパートナーズ代表取締役／東京理科大学准教授）

※タクティカルアーバニズム

長期的変化に向けた小さなアクションを促す戦術的アプローチ。

### 3 登壇者プロフィール（※五十音順）



#### 泉山 暎威（いずみやま るい） 都市戦術家／プレイスメイカー

東京大学先端科学技術研究センター 助教／一般社団法人ソトノバ 共同代表理事・編集長／PlacemakingX, Regional Network Leader, Japan / 博士（工学）／認定准都市プランナー／1984年札幌市生まれ／エリアマネジメントやパブリックスペース活用、社会実験やアクティビティ調査、タクティカル・アーバンイズム、プレイスメイキングの研究及び実践に関わる。主な著書に、「ストリートデザイン・マネジメント：公共空間を活用する制度・組織・プロセス」など



#### 中山 靖史（なかやま やすし）

##### 独立行政法人都市再生機構都市再生部事業企画室長

1966年4月生まれ。1989年住宅・都市整備公団入社。2009年、大手町業務部整備第1チームリーダー。大手町連鎖型再開発や虎の門2丁目地区再開発事業を担当。2014年、本社技術・コスト管理部企画チームリーダー。技術部門総括と組織人事を担当。2017年東日本都市再生本部事業企画部長。新規都市再生事業の組成を担当。2019年より現職。



#### 野原 卓（のはら たく） 横浜国立大学准教授

都市デザイナー。博士（工学）、一級建築士。1975年東京生まれ。2000年東京大学大学院修士課程修了。大手設計事務所、東京大学助手・助教を経て現職。横浜市都市美対策審議会委員、横浜市創造界限形成推進委員会委員長。横浜市の都市デザイン、大田区モノづくりのまちづくり、喜多方市の地域まちづくり、ストリートデザインマネジメントなど、現場とデザインをつなぐ、都市デザインマネジメントを中心に、実践・研究活動を展開している。著書に『まちをひらく技術』（共著）『アーバンデザイン講座』（共著）など



#### Ryan Smolar（ライアン・スモラー）

プレイスメイカー, Downtown Inc., カリフォルニア州サンタアナ  
地方自治体やビジネス地区組合、観光局、学校、アート/フード関係の非営利組織にコンサルティングを手がけ、革新的な提案を行う。それを通じて、地域の経済再建やネットワーク構築、コミュニティの変革を支援してきた。Downtown Inc.では、ダウンタウンサンタアナ BID のイベントプログラムや公民連携、経済開発、戦略策定、マネジメント、組織運営、コミュニティ連携などを主導。数多くのイベントやプログラム、マーケティングキャンペーン、テクノロジーイニシアチブの立ち上げ・運営に携わる。代表的なプログラムとして Savor Santa Ana、サンタアナ歴史地区ブレイクファスト、および毎月開催のアートウォークイベント



#### 【逐次通訳】田村 康一郎（たむら こういちろう）

##### Place Capital Lab./（一社）ソトノバ

海外都市・交通計画コンサルタントを経て、世界初のプレイスメイキング修士課程をもつニューヨークの Pratt Institute に留学。Project for Public Spaces からプレイスメイキングの手法と本質を学びつつ、研究・実践に従事。帰国後はプレイスメイキングの日本での展開のため、小規模公園活用の実践や普及啓発を手がける一方、エリアマネジメントのコンサルタントとしても活動。プレイスメイキング X リージョナルメンバー。



#### 【コーディネーター】西田 司（にしだ おさむ）

##### ㈱オンデザインパートナーズ 代表取締役/東京理科大学准教授

1976年神奈川生まれ。使い手の創造力を対話型手法で引き上げ、様々なビルディングタイプにおいてオープンでフラットな設計を実践するオンデザイン代表。建築分野におけるコミュニケーションの可能性を探る実践をおこなっている。主な仕事として「ヨコハマアパートメント」（JIA 新人賞、ベネチアビエンナーレ審査員特別表彰）、「江ノ島ヨットハウス」（日本建築学会作品選奨）、復興まちづくり「ISHINOMAKI 2.0」（地域再生大賞特別賞）、「THE BAYS とコミュニティボールパーク化構想」など。グッドデザイン賞審査員、明治大学特別招聘教授。著書に「建築を、ひらく」「おうちのハナシ、しませんか?」「オンデザインの実験」「PUBLIC PRODUCE 公共的空間をつくる7つの事例」

お問い合わせ先

政策局共創推進課担当課長 森脇 美也子 Tel : 045-671-4392



# 横浜と世界の パブリックスペース活用 Tactical Urbanism Japan スピンオフ

参加費  
無料

先着90名  
事前申込

令和2年  
日 1月23日(木)  
時 18時～20時30分  
(開場 17時30分)

横浜市開港記念会館  
1号室  
(横浜市中区本町1丁目6番地)

会場

最寄り駅:  
JR京浜東北線・根岸線・市営地下鉄線  
「関内駅」徒歩10分、みなとみらい線  
「日本大通り駅」1番出口徒歩1分

横浜市では、道路、公園、港湾緑地などの公共空間が数多く存在し、市民の皆様の生活を支えています。この度、公共空間を活用して横浜の魅力をもっと引き出したい、とお考えの民間事業者の皆様向けに「公共空間活用の手引き」を策定し、1月に発表することになりました。

国内外の事例を取り上げながら、公民が連携して公共空間を活用することで、本市で今後どのような展開が可能か、お集まりの皆様と未来志向で共有します。

第1部	18:00 ～ 18:30	「公共空間活用の手引き」紹介	横浜市政策局
		公園における公民連携の動き	横浜市環境創造局
		横浜のパブリックスペース活用	野原 卓 (横浜国立大学準教授)
第2部	18:30 ～ 19:10	日本と世界のパブリックスペース活用 (公共空間活用の現在地 ～タクティカル・アーバニズムジャパン2019報告等)～	泉山 壘威 (東京大学助教/(一社)ソトノバ 共同代表理事)
			中山 靖史 (独立行政法人都市再生機構都市再生部事業企画室長)
			Ryan Smolar (Smolarcorp President/Long Beach Fresh Co-director/Downtown Santa Ana Placemaker)
			【逐次通訳】田村康一郎 (Place Capital Lab./ (一社)ソトノバ)
		休憩 (10分)	
第3部	19:20 ～ 20:30	パネルディスカッション「公共空間のポテンシャル」 ～横浜から公共空間活用を考える～	泉山 壘威、中山 靖史、野原 卓、 Ryan Smolar 【逐次通訳】田村康一郎
		ファシリテーター 西田 司 (株)オンデザインパートナーズ 代表取締役 /東京理科大学准教授	横浜市

## 参加申込方法

下記サイトからお申込みください  
<https://sotonoba.place/tacticalurbanismyokohama>

締切り 1月22日(水) 23時59分

【問合せ】横浜市政策局共創推進課 共創オープンフォーラム担当  
☎ 045-671-2226 ☒ ss-ppp@city.yokohama.jp

主催:横浜市政策局、(一社)ソトノバ



## 第1部 18:00~18:30

「公共空間活用の手引き」の紹介と、公園における公民連携の動きを横浜市からご案内後、横浜国立大学の野原准教授より横浜の公共空間の可能性についてコメントをいただきます。

### 野原 卓(のほら たく)

横浜国立大学准教授 都市デザイナー、博士(工学)、一級建築士  
1975年東京生まれ。2000年東京大学大学院修士課程修了。

大手設計事務所、東京大学助手・助教を経て現職。

横浜市都市美対策審議会委員、横浜市創造界隈形成推進委員会委員長。  
横浜市を始め、全国各地で都市デザインマネジメントを中心に、実践・研究活動を展開している。



## 第2部 18:30~19:10

日本とアメリカの公共空間活用の実践者から、日本とアメリカのプレイスメイキングや世界の公共空間活用の事例紹介、「Tactical Urbanism Japan 2019」等のご報告をいただきます。



### 泉山 暉威(いずみやま るい)

東京大学先端科学技術研究センター 助教／(一社)ソトノバ 共同代表理事・編集長／  
都市戦術家／プレイスメーカー

1984年札幌市生まれ。

エリアマネジメントやパブリックスペース活用、社会実験やアクティビティ調査、タクティカル・アーバニズム(※)、プレイスメイキングの研究及び実践に関わる。

※タクティカル・アーバニズム:

長期的変化に向けた小さなアクションを促す戦術的アプローチ。



### 中山 靖史(なかやま やすし)

独立行政法人都市再生機構  
都市再生部事業企画室長

1966年生まれ。1989年住宅・都市整備公団入社。大手町連鎖型再開発や虎の門2丁目地区再開発事業担当、本社技術・コスト管理部企画チームリーダー、東日本都市再生本部事業企画部長を経て現職。



### Ryan Smolar(ライアン・スモラー)

Smolarcorp President／Long Beach Fresh Co-director／  
Downtown Santa Ana Placemaker  
プレイスメーカー

地方自治体やビジネス地区組合、観光局、学校、アート／フード関係の非営利組織にコンサルティングを手がけ、数多くのイベントやプログラム、マーケティングキャンペーン、テクノロジーイニシアチブの立ち上げ・運営に携わる。

### 【逐次通訳】

田村 康一郎(たむら こういちろう)  
Place Capital Lab.／(一社)ソトノバ  
プレイスメイキングXリージョナルメンバー



## 第3部 19:20~20:30

第1部、第2部を踏まえ、パネリストたちが、これからの日本、横浜の公共空間活用について語り合います。



### コーディネーター 西田 司(にしだ おさむ)

(株)オンデザインパートナーズ 代表取締役／東京理科大学准教授

1976年神奈川県生まれ。グッドデザイン賞審査員、明治大学特別招聘教授。

使い手の創造力を対話型手法で引き上げ、様々なビルディングタイプにおいてオープンでフラットな設計を実践するオンデザイン代表。建築分野におけるコミュニケーションの可能性を探る実践をおこなっている。